八坂神社と相撲とキュウリ

むかし大館地方では、村々のお祭りには奉納相撲が必ず行われていた。そのうちでも一番有名なのが、片山の八坂神社の奉納ずもうで、二〇数年前までは八坂神社の祭典の宮相撲として続けられていた。八坂神社には素盞嗚尊が祭られているために、荒々しい話が多く伝わり、先にみた「かけっ放し二度右衛門」はそのうちでもっとも有名な話である。キュウリにまつわる話は現在でも習慣として残っている。素盞嗚尊が荒神だったので島流にされた。その途中海が荒れて難破しそうになったとき、それを助けた船がキュウリを積んだ船だったので、八坂神社の氏子はキュウリを奉納し、一切キュウリを口にしないのはそのためだという。